禁転載複製
当日配付
試験終了後公開

B69

「中央職業能力開発協会編」

令和７年度 技能検定
２級 工業包装 学科試験問題
(工業包装作業)

1. 試験時間　1時間40分
2. 問題数　50題(A群25題、B群25題)
3. 注意事項
   (1) 係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
   (2) 答案用紙(真偽法と多肢択一法の併用)に検定職種名、作業名、級別、受検番号、氏名を必ず記入してください。
   (3) 係員の指示に従って、問題数を確かめてください。それらに異常がある場合は、黙って手を挙げてください。問題はA群(真偽法)とB群(多肢択一法)とに分かれています。
   (4) 試験開始の合図で始めてください。
   (5) 解答の方法(真偽法と多肢択一法の併用)は次のとおりです。
      イ. A群の問題(真偽法)は、一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
      ロ. B群の問題(多肢択一法)は、正解と思うものを一つだけ選んで、解答してください。二つ以上に解答した場合は誤答となります。
      ハ. 答案用紙(マークシート用紙)へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従ってください。
      ニ. 答案用紙の解答欄は、A群の問題とB群の問題とでは異なります。所定の解答欄に、試験問題の題数に応じて解答してください。解答欄はA群は50題まで、B群は25題まで解答できるようになっています。
   (6) 電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
   (7) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は、使用してはいけません。
   (8) 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
   (9) 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (10) 試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (11) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

［A群（真偽法）］

1　日本産業規格(JIS)によれば、梱包は、輸送を目的とした木製容器、鋼製容器、段ボール製容器などによる包装である。

2　日本産業規格(JIS)によれば、ストレッチ包装は、物品を1個又は複数個まとめてその側面をストレッチフィルムを引っ張りながら包み、物品を強く固定・保持する包装である。

3　日本産業規格(JIS)によれば、包装に用いるドラムは、金属製に限られている。

4　日本産業規格(JIS)によれば、正味質量は、包装に用いられた容器その他の包装材料の質量である。

5　日本産業規格(JIS)によれば、シュリンク包装機は、包装対象品をシュリンクフィルムで覆い、これを加熱して包装対象品を強く固定する機械である。

6　日本産業規格(JIS)によれば、防湿包装は、防湿性の優れた包装材料を用い、必要に応じて乾燥剤を入れ、内部を乾燥状態に保つ包装である。

7　防せい包装の前処理として、製品を清浄することは、防せい効果を高める。

8　ISO 9001は、品質マネジメントシステムの国際規格である。

9　日本産業規格(JIS)によれば、普通木箱I・C形の外板に使用する合板の最小板幅は、10cmである。

10　日本産業規格(JIS)によれば、木口は、木材の繊維方向に対して直角に切った断面をいう。

11　日本産業規格(JIS)によれば、段ボール用中しん原紙は、同一坪量であれば、MA級よりもMB級の方がISO圧縮強さが高い。

12　日本産業規格(JIS)によれば、内容品質量が200kgのものには、普通木箱I・C－5形が使用できる。

13　日本産業規格(JIS)によれば、天井荷重とは、木箱の天井面にかかる荷重で、主として、天井のはりが支えるものをいう。

14　日本産業規格(JIS)によれば、普通木箱の内のり長さは、両つま板の内面間の寸法である。

［A群（真偽法）］

15　日本産業規格(JIS)によれば、腰下付木箱B形の場合、無負荷床材は、内容品の形状、品質によって、すき間を20cmまで設けてもよい。

16　日本産業規格(JIS)によれば、木箱の種類は、内容品質量、構造及び外板の用い方などによって分類される。

17　日本産業規格(JIS)によれば、腰下付木箱の側桟から滑材に打つくぎは、側桟の厚さの2倍の長さである。

18　日本産業規格(JIS)によれば、腰下付木箱C形の天井に合板の一枚板を用いるときは、防水材料を用いなくてもよい。

19　日本産業規格(JIS)によれば、次の荷扱い図記号は、最下段の包装貨物の上に、同一の包装貨物を最高10段まで積み重ねることが可能であることを示す。



20　日本産業規格(JIS)によれば、包装貨物の荷扱い図記号の全高は、100mm、150mm又は200mmを標準とする。

21　パッキングリストは、海外の買手宛てに売手側から発行する包装貨物の明細書である。

22　船荷証券(Bill of Lading)は、船会社が荷主と貨物の海上運送契約を結んだ場合、荷送人の請求により、発行される有価証券である。

23　日本産業規格(JIS)の機械製図において、投影法は、原則として、第三角法を使用する。

24　労働安全衛生法関係法令によれば、フォークリフトを使用して作業を行うときは、原則として、乗車席以外の箇所に労働者を乗せてはならない。

25　消防法関係法令によれば、A火災用の消火器には、地色が青色の絵表示がある。

［B群（多肢択一法）］

1　日本産業規格(JIS)における個装に関する記述として、適切なものはどれか。

イ　包装貨物の外部の包装をいい、物品の商品価値を高めるため、又は物品個々を保護するために適切な材料、容器などを物品に施す技術及び施した状態をいう。

ロ　物品個々の包装をいい、物品の商品価値を高めるため、又は物品個々を保護するための適切な材料、容器などを物品に施す技術及び施した状態をいう。

ハ　物品個々の包装をいい、物品の商品価値を高めるため、無容器のまま結束し、記号・荷印などを施す技術及び施した状態をいう。

ニ　物品個々の包装をいい、商品として表示などの情報伝達の媒体とすることはできない。

2　日本産業規格(JIS)におけるベール包装に関する記述として、適切なものはどれか。

イ　子供の事故防止を目的とし、誤って開封、開栓、開包等ができないようにした包装である。

ロ　静電気の影響を軽減する目的で帯電防止能を付与した包装である。

ハ　羊毛、綿花、紙、金属スクラップ等かさばる物品を、ある程度圧縮しながら包装材料で覆い、さらに結束材料で強固に補強する包装である。

ニ　段ボールなどの包装材料で包装品をくるむようにして周囲を覆う包装である。

3　日本産業規格(JIS)によれば、木箱において、側支柱又は側桟の補強として内側に取り付け、上部荷重を支える部材とされているものはどれか。

イ　はり

ロ　負荷床材

ハ　ヘッダ

ニ　そえ柱

4　日本産業規格(JIS)によれば、ブリスター包装のふた材にアルミニウムはくなどの押出し性のよい材料を用いて、主に錠剤、カプセルなどの包装を行う機械と規定されているものはどれか。

イ　折畳み包装機

ロ　ストリップ包装機

ハ　真空包装機

ニ　PTP包装機

5　日本産業規格(JIS)によれば、輸出包装する工作機械を防せいする場合に適用する保管環境のレベルはどれか。

イ　レベル1

ロ　レベル2

ハ　レベル3

ニ　レベル4

［B群（多肢択一法）］

6　日本産業規格(JIS)の防湿包装方法に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　包装の表面積は、できるだけ小さくする。

ロ　包装材料は、透湿度が大きいものを用いる。

ハ　包装内容物は、防湿包装を行うとき、乾燥状態にする。

ニ　包装の内部に入る緩衝材料等は、あらかじめ乾燥させておくとよい。

7　日本産業規格(JIS)の「品質マネジメントシステム－要求事項」によれば、品質管理におけるPDCAサイクルについての説明として、適切でないものはどれか。

イ　Pは、Plan(計画)の略である。

ロ　Dは、Do(実行)の略である。

ハ　Cは、Count(計数)の略である。

ニ　Aは、Action(改善)の略である。

8　パレット作業の特徴として、適切でないものはどれか。

イ　荷役作業効率がよい。

ロ　機械荷役は必要としない。

ハ　ユニットロードになる。

ニ　品物の保護に役立つ。

9　工業包装に用いる材料に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　合板とは、単板を5枚以上接着剤で貼り合わせた木材製品をいう。

ロ　両面段ボールとは、片面段ボールの段頂にライナを貼り合わせた段ボールをいう。

ハ　さび止めフィルムとは、さびの発生を防止するためにさび止め剤を塗布するか、又は練りこんだプラスチックフィルムをいう。

ニ　平割材とは、断面が長方形で、通常、厚さに対する幅の比が1に対して4未満の製材をいう。

10　文中の(　　)内に当てはまる数値として、適切なものはどれか。

日本産業規格(JIS)によれば、普通木箱に用いる木材の平方向における許容強さ(一般に用いるラジアタ松の許容強さに基づく)は、(　　)MPaとされている。

イ　9.5

ロ　10.0

ハ　10.5

ニ　11.0

11　日本産業規格(JIS)によれば、腰下付木箱の内容品質量の上限として、適切なものはどれか。

イ　500kg

ロ　1,000kg

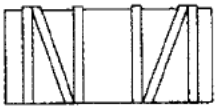
ハ　1,500kg

ニ　2,000kg

［B群（多肢択一法）］

12　日本産業規格(JIS)によれば、下図の腰下付木箱における側の形式の名称として、適切なものはどれか。

イ　2N
ロ　2K＋1
ハ　2N＋1
ニ　2K



13　日本産業規格(JIS)によれば、腰下付木箱の腰下の構造(下げつま形式を除く) に関する記述として、誤っているものはどれか。

イ　滑材の長さは、内のり長さに両つま桟と両つま板の厚さを加えたものである。
ロ　負荷床材の断面寸法は、外側滑材の内のり間隔並びに内容品の質量及び形状によって決める。
ハ　すり材の幅は、滑材の幅の80％未満とする。
ニ　外のり長さは、6.0m以下とする。

14　日本産業規格(JIS)によれば、腰下付木箱に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　設計要素は、流通条件によって、クラス1とクラス2に区分される。
ロ　クラス1は、主として在来船による輸出向けに適用する。
ハ　クラス2は、主として国内輸送、輸出においても一貫輸送等に適用する。
ニ　クラス2の外力は、クラス1の1／3である。

15　文中の(　　)内に当てはまる数値として、適切なものはどれか。

日本産業規格(JIS)によれば、普通木箱は、体積(　　)m^3以下とされている。

イ　0.5
ロ　1.0
ハ　1.5
ニ　2.0

16　日本産業規格(JIS)によれば、交差する部材の板幅が15cmと9cmの場合、これらの部材をくぎ付けするためのくぎの本数として、適切なものはどれか。

イ　8本
ロ　6本
ハ　4本
ニ　2本

［B群（多肢択一法）］

17　文中の(　　)内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。

日本産業規格(JIS)によれば、木箱に用いる木材の含水率は、通常、20%以下とするが、外桟、滑材、(　　)及びB形については、24%以下としてもよい。

イ　すり材
ロ　ヘッダ
ハ　負荷床材
ニ　はり

18　文中の(　　)内に当てはまる数値として、適切なものはどれか。

日本産業規格(JIS)によれば、腰下付木箱の天井の防水方法において、防水材料を継ぎ足す場合は、防水材料を(　　)cm以上重ね合わせ、耐水性接着剤又は防水テープを用いてつなぐこととされている。

イ　3
ロ　6
ハ　9
ニ　12

19　文中の(　　)内に当てはまる数値として、適切なものはどれか。

日本産業規格(JIS)によれば、腰下付木箱の天井におけるはりの中心間隔は(　　)cm以下とし、通常、はりは側桟の位置に用いることが望ましいとされている。

イ　51.5
ロ　61.5
ハ　71.5
ニ　81.5

20　日本産業規格(JIS)によれば、包装貨物の荷扱い図記号の名称のうち、包装の四つの側面すべてに表示しないものはどれか。

イ　壊れもの
ロ　フォーク差込み禁止
ハ　上方向
ニ　重心位置

21　一般に、パッキングリストに記入する必要のないものはどれか。

イ　体積
ロ　寸法
ハ　荷揚港
ニ　価格

［B群（多肢択一法）］

22　通常の国際取引(外国貿易)において、運賃保険料込み条件を意味する用語はどれか。

イ　FAS
ロ　FOB
ハ　CFR
ニ　CIF

23　日本産業規格(JIS)によれば、製図に用いる線の種類及び用途に関する説明として、適切でないものはどれか。

イ　記述・記号などを示すために引き出すのに、細い実線を用いる。
ロ　図形の中心を表すのに、細い一点鎖線を用いる。
ハ　寸法を記入するのに、太い実線を用いる。
ニ　対象物の見えない部分の形状を表すのに、細い破線を用いる。

24　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

労働安全衛生法関係法令によれば、フォークリフトの運転の業務に係る特別教育を修了した者は、最大荷重(　　)トン未満のフォークリフトの運転(道路上を走行させる運転を除く)の業務を行うことができる。

イ　1
ロ　2
ハ　3
ニ　4

25　労働安全衛生法関係法令に関する記述として、誤っているものはどれか。

イ　手押しかんな盤には、刃の接触予防装置を設けなければならない。
ロ　木材加工用丸のこ盤には、横切用丸のこ盤その他反ぱつにより労働者に危険を及ぼすおそれのないものを除き、割刃等の反ぱつ予防装置を設けなければならない。
ハ　フォークリフトを用いて作業を行うときは、作業開始前に始業前点検を行わなければならない。
ニ　最大積載量が5トンの貨物自動車に対して荷の積み卸し作業を行う場合は、保護帽を着用しなくてもよい。